

## 令和3年度 防災総合訓練における課題対応について

## 1. はじめに

令和4年2月1日に実施した訓練の結果を踏まえ、課題を抽出し、対策の検討を行った。

## 【抽出した課題等】

No.	抽出した課題	区分	対策
1	第10条及び第15条報告において、15分以内のFAX通報が達成できなかった。	通報連絡	関連マニュアルに、通報すべき必須情報及び通報文のチェック要領を規定する。
2	書画装置やERC常備資料等の活用による効果的な説明ができなかった。	ERC対応	ERC対応を主体とした図上訓練等を実施し、ERC対応の習熟を図る。

## 2. 検討

## &lt;No. 1&gt;

## 【問題点】

- ①第10条事象、第15条事象の発生を防災管理者が判断した後、15分以内にFAX通報を実施できなかった。

## 【課題】

- ①詳細に記載しようとし、FAXの通報文を迅速に作成できないことがある。  
②チェック者のコメントによる修正で迅速に報告できないことがある。

## 【原因】

- ①分かりやすさを意識して、発災場所の詳細を記載していた。  
②正確性を追求し、FAX通報文の修正を行っていた。

## 【対策】

- ①関連マニュアルに、記載程度について規定する。  
②関連マニュアルに、チェック要領及び修正要領についての記述を追記する。

## &lt;No. 2&gt;

## 【問題点】

- ERCプラント班へ効果的な説明ができなかった。

## 【課題】

- ①説明に使用できる図書の所在を認識できていないことがある。  
②ERCで見やすいように書画装置の画面を調整できないことがある。

## 【原因】

- ①ERCに常備している資料内容の把握が不十分であった。  
②ERC対応のための要素訓練を実施できなかった。

## 【対策】

- 書画装置の使用を含めた図上訓練等を実施する。

### 3. 「その他」に関する対策

No.	課題区分	課題	原因	対策
1	通報連絡	現場から ERC 対応者までの情報が変化してしまった	現場から対策本部への報告に『いつ、どこで、何が（誰が）、どうした（以下 4W という）』が確実に伝達されていなかった。	要素訓練において、「4W」を意識した情報伝達を実践し、練度の向上を図る。
2	通報連絡	代替手段（固定電話）による通話情報共有化の未達	マルファンクション発生時の代替手段「固定電話」の音声共有化の運用方法を周知できていなかった。	運用方法を関連マニュアルに記述すると共に、要素訓練において、具体的な運用演習を行う。